

1) 研究会の名称：「流域治水」を支える水系治水技術に関する研究会

2) 申請者：辻本哲郎（名産研上席研究員）

3) 趣旨と目標：

2015年の鬼怒川水害以降、大規模線状降水帯や大型台風の襲来による豪雨・洪水が頻発しているなか、「流域治水」という概念で、単に水系のみで豪雨・洪水に対処するのではなく、流域全体で流出・洪水を貯留・滞留させて、激甚な堤防決壊からの氾濫を防止するとともに、複数機関の協力での雨水・貯留の制御や氾濫時の諸機関の共同での水防災行動がとれる仕組みが考えられている。この「流域治水」を支える、気象・水象観測と予測、それに基づく水系治水（河川流制御やダム等の洪水調節）の技術の高度化、流域での氾濫水の制御技術、河川・流域での洪水情報（予測情報を含む）の共有とそれにもとづいた多様な機関の行動駆動方法などについては、学術・技術・行政の仕組みが融合した「知」と「術」にまとめられねばならない。そしてその展開・発展は、学分野、技術の専門、行政の垣根を超えた議論で達成されることを認識して、本研究会を構想した。新しい発想と議論に基づく検討から、「総合治水」を支えるガイドラインを構想する。

4) 責任者及び主要メンバー

（責任者）：辻本哲郎（名産研上席研究員）

（メンバー）：別紙のとおり

5) 実施場所と形態

当面 WEB 方式

少人数での打ち合わせ会議は名古屋駅周辺の貸会議室等で

6) 実施期間：令和3年4月12日～令和4年3月25日 2年間

別紙メンバー表

戸田 祐司 (名古屋大学大学院工学研究科教授)
溝口 敦子 (名城大学理工学部教授)
尾花まき子 (名古屋大学大学院工学研究科講師)
川瀬 宏文 (国土交通省中部地方整備局)
野々村武文 (国土交通省中部地方整備局)
平光 文男 (国土交通省中部地方整備局 OB)
木村 秀治 (一般財団法人河川情報センター)
犬飼 一博 (一般社団法人中部地域づくり協会)
可児 裕 (一般財団法人水源地環境センター)
荒木 隆 (株式会社建設環境研究所)
辻倉 裕喜 (株式会社建設技術研究所)
桑原 正人 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)
山崎 祐一 (日本工営株式会社)
(必要に応じてメンバーを追加する)